

開催日:2019年5月16日

s a n t e c株式会社

2018年度決算説明会（機関投資家向け）質疑応答（要旨）

※ 説明会開催日（2019年5月16日）時点の情報に基づく内容です。

Q: 2018年度第4四半期の利益落ち込みの要因について教えてください。

A: 主に在庫処理、賞与引当金の積み増し、光部品事業の投資先行に伴う支出が主な要因です。また、2018年度第3四半期に、採算性の高い開発受託案件の売上計上があったこともあり、第4四半期が実体以上に悪化しているように見えます。

Q: 2019年度業績予想をセグメント別内訳で教えてください。どのセグメントが伸びる見込みでしょうか。

A: 光部品関連事業の伸びが大きいとみています。また、ALCONとの戦略的提携を行っているARGOSも大きく伸びる可能性があると考えています。

Q: 光部品の伸びの理由は何でしょうか？

A: 北米向け、5G関連投資に伴う光通信装置などの増産によるものです。

Q: 2019年度の粗利益面において、設備投資以外の変動要因はありますでしょうか？

A: 製品によって原価率が異なるので、製品ミックスによる影響を受けます。なお、2019年度の業績予想は若干保守的な数字となっております。

Q: 価格の下落については、業績予想に織り込んでいますか？

A: 織り込んでいます。

Q: 設備投資の額はどのくらいですか？

A: 2018年度の約2倍を予定しております。

Q: 御社の、研究開発体制の現状と今後について、教えてください。

A: 当社は、技術系社員が全社員の約3分の1を超えております。拠点としては、愛知県小牧市と米国シリコンバレーの2拠点体制としており、加えて大学との共同研究を積極的に行っております。今後も、優秀な技術者を採用しつつ、研究開発を更に強化していきたいと考えております。

Q: 世界的な競合会社はどこになりますか？

A: 光部品では、米国と中国に数社、波長可変光源では欧米で数社ございます。

Q: 今後、ALCONとの提携によってどれくらい売上が拡大する見込みでしょうか？

A: 今後については、まだ具体的に言えません。1点申し上げるなら、これまで、当社は数名で営業活動を行ってきました。今後は、ALCON様のグローバルな営業力に期待しつつ、

当社は製品開発、品質改善、安定生産に向けた取り組みに集中していきたいと考えております。

Q: 眼科以外向けソリューションはありますか？

A: あります。具体的には申し上げられませんが、通信、自動車、センシングなど幅広い分野における新たなニーズを探っております。

Q: 御社の製品売上のうち、5G関連の売上はどれくらいになりますか？

A: 切り分けは非常に難しいのですが、光部品は、約半分、光測定器は約3割程度ではないかと考えております。

Q: 生産能力引上による売上貢献度はどれくらいでしょうか？

A: 約2倍の能力増強になると考えております。

Q: 米中貿易摩擦の影響はいかがでしょうか。

A: ネガティブ、ポジティブの双方ありますが、ネガティブ要素の方が大きいであろうと考えています。一番の懸念は、当社の北米のお客様が中国に販売ができなくなることです。当社事業で一番影響を受けるのは、光部品関連事業であると考えております。

以上